

執筆者紹介（掲載順）

土田健次郎（早稲田大学名誉教授）
仙石 知子（二松学舎大学講師）
長谷川隆一（早稲田大学文学学術院助手）
志村 敦弘（東洋大学博士後期課程満期退学）
原 信太郎 アレシヤンドレ（早稲田大学非常勤講師）
松川 雅信（日本学術振興会特別研究員（PD））

彙報

日本儒教学会 二〇二一年度理事会・評議員会
開催日 二〇二一年五月二三日（日）
会場 オンライン（Zoom）
日本儒教学会 二〇二一年度大会（第六回大会）
開催日 二〇二一年五月二三日（日）
会場 オンライン（Zoom）
研究発表

ハンデンシ（東北大学大学院）「儒家神道における修養論の考察——

跡部良顕を中心として」

司会 清水 則夫（明治大学）

陳 路（関西大学大学院）「室町中期における朱子学の受容——

桃源瑞仙をめぐる——」

司会 長尾 直茂（上智大学）

長谷川隆一（早稲田大学文学学術院助手）「後漢における二人の王氏

——性三品説下における「君主〓聖人論」・「君主〓非聖人

論」の典型として」

司会 渡邊 義浩（早稲田大学）

総会
講演

講演者 土田健次郎（早稲田大学名誉教授）

題目「儒教の思想史研究と思想分析——朱子学を中心に——」

司会 垣内 景子（早稲田大学）

編集後記

編集実務を担当したというわけではないのですが、会長職をあずかる身として思うところを述べてさせていただきます。

今年もこうして本誌を恙なく発行できました。年次大会を開催することと学会誌を発行することで精一杯の小さな組織ですけれど、会員諸氏には今後もひきつづき学会運営への支援・協力をお願いいたします。また、お知り合いにぜひ入会の勧誘をしていただきたく存じます。

西暦二〇二二年は、紀元前四七九年すなわち孔子の没年から満二千五百年です。本学会は彼の思想を顕彰しようという趣旨の団体ではありませんが、記念すべき大きな節目の年としてともに祝いましょ。

儒教の起源は黄河流域だったとはいえ、その後の長い歴史を経て東アジアが共有する文化的遺産となっています。したがって、特定の民族・政権の所有物ではありませんし、諸他の思想・宗教に対して独善的に優越性を主張すべきものでもないでしょう。本学会が政治的立場の多様性を尊重しつつ学術的に地道な活動を今後も続けていくことで、国際社会に対してなんらかの貢献ができればと思います。

（小島 記）

日本儒教学会報 第六号

二〇二二年一月三十一日 発行

編集・発行 日本儒教学会

会長 小島 毅

〒一六二―八六四四

東京都新宿区戸山一丁目二四番一号

早稲田大学文学学術院 東洋哲学研究室気付

E-mail ribenrujiao@yahoo.co.jp

印刷 サミット印刷株式会社

〒一〇五―〇〇一一

東京都港区芝大門二丁目一〇番一八号